

株式会社ナガホリ 御中

## 株式会社ナガホリに対する株主提案に関する反対声明

我々、宝石・貴金属等取扱事業者有志一同は、来る3月16日開催予定の株式会社ナガホリ（以下「ナガホリ」といいます。）の臨時株主総会で、リ・ジェネレーション株式会社（以下「リ社」といいます。）が行っている現任のナガホリの全ての取締役の解任およびそれに代わる新しい取締役の選任に関する株主提案（以下「本提案」といいます。）に反対します。

実際に本提案がナガホリの臨時株主総会で全て可決されることになり、リ社がナガホリの経営支配権を取得することとなった場合、それは単にナガホリ一社の問題にとどまらず、宝飾品業界全体にも大きな悪影響が出るのが強く懸念されるからです。

本提案に関連してリ社が公表している資料や昨今の報道等によると、リ社の代表者・尾端氏は、自身も認めるとおり、マルチ・レベル・マーケティング・ビジネス（以下「マルチ商法」といいます。）に長年関与していた経歴を有するということであり、しかも、尾端氏が取締役を務めていた当該ビジネスを営んでいた会社は、当局から行政指導を受けたばかりか、マルチ商法の被害者から民事訴訟も提起されているほか、「被害者の会」が発足している状況であると認識しています。

この点、宝石・貴金属等取扱事業者は、その商売柄、犯罪収益移転防止法に基づき、届出の義務を課されているなど、他の業種に比べても、マネー・ローンダリングの防止を含むコンプライアンスの遵守が極めて重要です。もし、ナガホリの経営権支配権が、マルチ商法に長年関与していた人物が代表を務めるリ社に取得されるようなことになれば、ただでさえマルチ商法について様々な問題が指摘されている現在の状況下において、ナガホリ一社の問題にとどまらず、業界に対する信用が毀損され、健全なる発展が阻害されることに対して強い懸念があります。

さらに、宝飾品事業を営む上場会社としてのナガホリの信用を、万が一にもマルチ商法等に悪用されるようなことがあれば、お客様からの信用の低下その他のイメージダウンによる業界全体への打撃は計り知れません。そして、そうした状態は、我々だけでなく、広く、零細・中小事業者を含む宝石・貴金属等取扱事業全体に広く悪影響が生じることとなり、それら事業者各社の従業員・取引先にも多大な悪影響が及ぶのではないかと強く懸念されます。

また、リ社及び尾端氏から示されているナガホリの経営支配権を取得した後の経営方針

については、同業者である我々の眼から見ても、具体性・合理性に欠けており、リ社が真摯にナガホリの企業価値の向上を図ろうとしているとは思えないだけでなく、業界経験のない経営陣に変わることに不安も強く懸念されます。

我々、宝石・貴金属等取扱事業者有志一同は、ナガホリとは、常日頃、コロナ禍による打撃が依然として残る厳しい環境の中で競争に鎗を削っておりますが、本提案に関しては、宝飾品に関わる業界全体への著しい悪影響が懸念されるため、業界の健全な発展を切に願う立場から、ナガホリの株主の皆様が賢明なご判断をされること、そのために、ナガホリの現経営陣が最善の努力をされることを切に希望しております。そして、そのめのご参考の一助として頂くべく、ここに本提案に反対の意見を表明させていただきます。

2023年2月24日

株式会社秋山製作所 代表取締役社長	秋山 裕太郎
株式会社ヴァンドームヤマダ 代表取締役社長	山田 潤
株式会社大淵銀器 代表取締役社長	大淵 恒夫
株式会社オリエンタルダイヤモンド 代表取締役社長	森 啓輔
株式会社カジ・インターナショナル 代表取締役	梶 光夫
三和精密工業株式会社 代表取締役	目黒 和紀
株式会社ジェイワン 代表取締役	上野 純一
株式会社セスタディカラッチ 代表取締役	原 正次
東京貴宝株式会社 代表取締役	政木 喜仁
株式会社並木製作所 代表取締役	並木 啓政
株式会社ノブコイシカワ 代表取締役社長	甲斐 将彦
株式会社ハピネス・アンド・ディ 代表取締役社長	田 篤史
バンビジュエリー株式会社 代表取締役	舘林 秀朗
有限会社ピアジュエリー 代表取締役	名取 邦雄
株式会社ポンテヴェキオホッタ 取締役社長	堀田 幸夫
株式会社ロージィーブルー 代表取締役	アトゥル ジャベリ
株式会社ワイズ 代表取締役	松沢 安行